

## 「通いの場」のモデル事業について

### 1 目的

本区は国や東京都と比べ、高齢者のいる世帯に占めるひとり暮らし高齢者の割合が高いという特徴がある。高齢者が会話や地域の人との交流が少ないと、困った時に頼る人もなく孤立してしまい、必要な行政サービスの情報も届きにくくなるため、さらに状況が悪化するという危険がある。そこで身近な地域に、高齢者が歩いていける範囲に人と交流できる場が必要である。

また、高齢者を支え合う地域づくりをめざして、元気な高齢者が中心となり、知識や経験を生かして通いの場のスタッフや講師など運営の支え手となってもらい、地域で役割や生きがいを持って活躍してもらうためボランティアの育成を行っていくことも重要である。

そこで、日常生活圏域ごとに住民が主体的に運営する「通いの場」のモデル事業を実施し、区内全域に広げていけるよう設立支援の方法や補助スキーム等を検証する。

### 2 実施会場等

京 橋地域（新川区民館）：『ふらっとルーム新川』午前10時～正午

日本橋地域（久松区民館）：『日本橋サロン（仮称）』午後1時30分～3時30分

月 島地域（月島区民館）：『月島さろん（仮称）』午後1時30分～3時30分

### 3 実施回数

年間36回（1回2時間程度）

### 4 実施期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

### 5 実施内容

簡単な体操、歌、ゲーム、講習会、情報提供など